


【取組 1 2】トキが舞う能登の実現（その1）

（プラン記載箇所：56ページ）

＜目指す姿＞

◆ 能登の復興のシンボルとして、令和8年度の能登地域におけるトキ放鳥を実現し、**能登の大空をトキが再び舞う姿**を地域の方々にご覧いただく。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）			
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
① トキの放鳥・定着に向けた餌場の確保やモニタリング体制の整備 【生活環境部、農林水産部】 (107ページ)	令和8年度のトキ放鳥に向けて、トキの餌場となる水田において、江や魚道の設置、除草剤を使わない畦の管理、化学肥料や農薬の削減などの農業者によるトキの餌場づくりなどの取り組みを促進するなど生息環境の整備を進めるとともに、トキの定着に向けたモニタリング体制を構築・運用します。	トキ放鳥に向けた生息環境整備の推進 ・農業者等によるトキの餌場づくりの促進 ・トキのモニタリング体制の構築等		トキの定着に向けた生息環境整備の充実 ・トキのモニタリング体制の運用						
② トキとの共生に向けた社会環境の整備 【生活環境部】(107ページ)	トキと人との共生を図るため、放鳥に向けた気運醸成やこどもたちへの環境教育を実施し、トキの生態や環境保全への理解を県内全域で促進します。また、トキの観察マニュアルの作成や、地域で観察マナーを啓発する人材の養成を進めます。	トキ放鳥に向けた社会環境整備の推進 ・放鳥に向けた気運醸成 ・子供たちへの環境教育等		トキの定着に向けた社会環境整備の充実 ・トキとの共生の理解促進に向けた取り組みの継続・推進						
③ トキをシンボルとした地域活性化の推進 【生活環境部、農林水産部】 (107ページ)	トキ放鳥を契機とした地域活性化に向けて、ブランド化専門委員会を設置し、世界農業遺産「能登の里山里海」の更なる高付加価値化に向けた、トキツーリズムなど関係人口の拡大に資する取り組みを推進するほか、能登の農林水産物のブランド化を図ります。	トキ放鳥に向けた地域活性化の推進 ・農林水産物のブランド化をはじめとした地域活性化に向けた取り組み等		トキとの共生を活かした地域活性化の充実 ・能登の里山里海のブランドの高付加価値化や関係人口拡大に資する取組の継続・推進						


現在の状況	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ・県および能登地域4市5町で「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」を設立。R4.8月に放鳥候補地に選定され、放鳥までに必要な取組を示したロードマップを策定。 ・国が能登地域トキ放鳥受入推進協議会の放鳥に向けた取組を評価し、「令和8年度上半期中を目処に能登地域におけるトキ放鳥」を決定(R7.2.14)。 ① ② ③ ・令和8年度の放鳥場所を羽咋市南潟地区(邑知潟周辺)でのトキ放鳥を決定(R7.7.16)。 ・トキのシンボルマーク・キャラクターの一般投票を実施(R7.7.31～8.21)し、ブランド化専門委員会で決定(R7.10月公表)  <p>能登で放鳥されるトキのキャラクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区の取組の他地区への拡大 ・放鳥決定の記念イベント等の開催や未就学児から高校生まで切れ目のない環境教育の実施 ・トキをシンボルとした地域活性化に向けて、ロゴマーク・キャラクターの作成やPR動画を制作。キャラクターの愛称を募集しており、今後決定。 ・令和8年度の放鳥に万全を期すため、放鳥式の準備や、放鳥ケージの検討やモニタリング体制の構築等を推進。 ・さらに、国は、令和8年9月頃に、能登地域で2回目の放鳥を実施することを新たに決定。放鳥場所は、協議会で今後決定

関連する指標 (R7.12末時点)	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし				

<目指す姿>

- ◆ トキ放鳥の実現により、**トキが野生下で生息していた自然環境を取り戻し、次の世代に受け継いでいく**とともに、世界農業遺産「能登の里山里海」の価値をさらに高め、農林水産物の**ブランド化や関係人口の拡大**など、能登地域の活性化に繋げていく。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）			
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
① トキの放鳥・定着に向けた餌場の確保やモニタリング体制の整備 【生活環境部、農林水産部】 (107ページ)	令和8年度のトキ放鳥に向けて、トキの餌場となる水田において、江や魚道の設置、除草剤を使わない畦の管理、化学肥料や農薬の削減などの農業者によるトキの餌場づくりなどの取り組みを促進するなど生息環境の整備を進めるとともに、トキの定着に向けたモニタリング体制を構築・運用します。	トキ放鳥に向けた生息環境整備の推進 ・農業者等によるトキの餌場づくりの促進 ・トキのモニタリング体制の構築等		トキの定着に向けた生息環境整備の充実 ・トキのモニタリング体制の運用						
③ トキをシンボルとした地域活性化の推進 【生活環境部、農林水産部】 (107ページ)	トキ放鳥を契機とした地域活性化に向けて、ブランド化専門委員会を設置し、世界農業遺産「能登の里山里海」の更なる高付加価値化に向けた、トキツーリズムなど関係人口の拡大に資する取り組みを推進するほか、能登の農林水産物のブランド化を図ります。	トキ放鳥に向けた地域活性化の推進 ・農林水産物のブランド化をはじめとした地域活性化に向けた取り組み等		トキとの共生を活かした地域活性化の充実 ・能登の里山里海のブランドの高付加価値化や関係人口拡大に資する取組の継続・推進						

現在の状況	今後の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ・トキの餌場づくりへの理解促進と支援内容について、市町や農業者への説明会を実施し、取組への参加希望者の募集を開始するとともに、R7からの本格展開に向け支援内容を拡充 (R7.7.9 奥能登、R7.7.14 中能登) ① トキとの共生に取り組む先進地の講師を招き農業シンポジウムを開催し、あわせて認証制度の周知を行い取組機運を醸成 (R7.11.13 羽咋市)  <p>トキの餌場(江)の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町、JAなど関係団体との連携により、江や魚道の設置に加え、水田畦畔の機械除草などを支援し、トキの餌場づくりを促進する。
<ul style="list-style-type: none"> ③ 「トキめく能登の未来」米づくり認証制度を創設 (R7.11) →キャッチコピー「トキの生息環境づくりに取り組む生産者が夢と希望を抱いて育てたお米です」 ・県内外のイベント等で認証制度に基づく米づくりをPR ・トキの餌場となる田んぼで生産された米のブランド化に向けた検討会を開催し、有識者から意見聴取(R6.11.28、R7.3.18、R7.8.27) ・市場調査により消費者ニーズを把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年は生産・販売元年であることから、認証制度に基づく米づくりおよび販売の両面から機運醸成を図る。

関連する指標（R7.12末時点）	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし				